



### 「いちのみやサポートブック」が出来ました

サポートブックとは、お子さんが初めて接する人（例えば、ボランティアや新しい担任の先生など）に、お子さんの特性や接し方について知ってもらうための情報を書いておくものです。ブックを活用することで、いつでも誰からでも同じ支援を受けることができ、安心して社会生活をおくる為の大きな手助けとなります。

一宮市自立支援協議会では、地域の親の会の方々と関わる過程において、「自分の子どもの生い立ちなどの履歴をその都度何度も説明しなければならないことが、とても大変。」という報告を受け、一宮市在住者を対象とした「いちのみやサポートブック」を作成しました。

まごころを利用されている方にも是非活用して頂けたらと思います。

母子通園施設、児童発達支援センター、療育サポートプラザチャイブ、保健センター、いずみ学園、発達支援を行う事業所等が主な配布先ですが、市内の各学校、保育園、幼稚園などでも取り寄せることができます。

詳細は市役所の福祉課のホームページ、または各関係機関で配布されているチラシをご覧ください。



バイダー方式で、持ち運びに便利のように考慮され、A5サイズになっています

### ヘルパーだより NO.2

80 才になる A さんは、55 年間ベッド上での生活を送っている重度障がい者です。

自分で起き上がることも、体位を換えることもできませんが、唯一指にペンを挟んで文字を書いたり、パソコンを操作したりして過ごしてみえます。

朝・昼・夕・夜と毎日ヘルパーが入れ替わり訪問し、間をぬってマッサージ師や訪問看護師が訪れ、多くの人達の支えによって生活されています。

まごころは、平成 9 年から訪問して、365 日就寝ケア(20:30~22:00)を担っています。拘縮した腕や脚の関節を伸ばすリハビリや、ゲップやガス出しのためのマッサージをしたり、シーツのしわを引き伸ばしたりと、安眠して就寝するために神経を遣った身体介護を行っています。ある時就寝時、下剤を服用するのを忘れたことがあり、A さんから思い出して電話がかかり、再度夜中に伺ったこともありました。また車イスに乗って、通院介助や移動支援も行っています。いつもはベッドから窓越しに見える景色から季節を感じておられる A さんにとって、外出はさらに気分転換になっているようです。

80 才を期に「8020」で健康な歯を自慢の宝にしたいとか…いつも前向きで元気な A さんです。

#### 利用者さんからのことば…

毎日、多くの温かい手に支えられて長生きしています。身体的には皆さんの適切なアドバイスと介護のお蔭ですが、精神的には川柳という趣味が生きがいになっていると思っています。

菩薩の手に  
四肢麻痺の身を支えられ



### 心づれづれ

#### 人生のマラソン



私、71 歳 8 ヶ月。

昨年 6 月、突然のめまいと糖尿病で入退院のくりかえし、そのため全身の筋肉が弱くなり、身体の動きも、自分の意思とは相反し、思う様に動いてくれない。ご近所の方より「まごころさんをお願いされたら」となつかしい名前を紹介された。

20 年ほど前「まごころ」さんにボランティアの一人として働かせていただいたことを思い出した。現在はヘルパーさんに毎週 2 回、掃除・買い物のお世話になっている。こんなに早く介護のお世話になるとは、想定外だった。

人生のマラソン、ゴールが頭をよぎる時がある。マラソン中、給水所で水をとることができなかつたり、ふたがあかず水も口にすることができなかつたり、ボトルを落としてしまつたり、少々順調に走っているナ・・・と思うと靴が脱げたり・・・と、こんな失敗ばかりの人生を走っていた様に思う。そんな時、いつもいろいろな人の励まし、なぐさめの声で、山あり谷ありのコースを乗り越えてこれたと思っている。

現に今、「まごころ」さんに助けられている。ある雑誌に「残された人生、自分にとって、やさしい物、好きな物にかこまれて、穏やかな日々を過ごしたい」と書いてあった。

私の残された人生の「目的」が見つかった。この目的に向かって、一日一日をていねいに、大切に過ごしていけたらナ・・・と願っている。

上田 紀子



### ミニデイだより

#### 桜の木の下で



4 月 10 日、晴天。風もなく暖かなこの日、清州城界限へお花見に出かけました。清州城の桜は、まさに満開!! 「つぼみもなく、散ることもなく、まんまるな桜!」、「今日は、最高のお花見日和やね。」と、利用者さん口々におっしゃいます。

お弁当も桜の下で、おいしく頂きました。食後に、「ああお腹いっぱい!」と空を仰ぐと、そこにも満開の桜! 「上を見ないともったいないよ。」と K さん。そこで、皆さんごろんと寝転がって、寝花見(?)することに。すると誰からともなく、歌を口ずさまれ、いつのまにか皆さんで歌を歌って過ごしてみえました。



お花見にて、満開の桜の道でパチリ



毎月恒例のお抹茶を外で頂きました

